

1969(昭和44)年11月創刊

2024(令和6)年 7月 30日(火) 14416号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
ヴィレッジリバー南森町3階E号

TEL : 06-6353-7831

FAX : 06-6353-7832

MAIL : metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp

WEB : <https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

購読料 12か月79,200円 外電配送料 12か月92,400円
6か月39,600円 6か月46,200円



錫相対価格は1,600円引き下げ

5,400円

7月の月内価格平均は6,690円

三菱マテリアルは29日、高純度錫地金(99.99%=フォオンイン)の相対価格を1,600円引き下げの5,400円にすると発表、同日より適用した。2024年7月の月内平均価格は6,690円。

直近6か月の価格推移は次の通り(円/キロ、カッコ内は平均)。

2024年

2月…	5,400(1) 5,300(21)	平均5,360
3月…	5,400(1) 5,550(11) 5,650(18)	平均5,550
4月…	5,650(1) 5,750(4) 6,450(15) 7,200(18)8,000(23)7,000(26)	平均6,460
5月…	6,500(1) 6,600(10) 6,850(20)	平均6,710
6月…	6,800(3) 6,600(10) 6,550(24)	平均6,640
7月…	6,700(1) 6,900(4) 7,000(22) 5,400(299)	平均6,690

「銅の日」イベントを初開催

銅センター・鉱業協会など

一般社団法人日本銅センターは、夏休みのおもたちに銅の魅力を伝える、初めての「銅の日」イベントを、8月24日午前8時半から午後4時50分まで、東京都千代田区北の丸公園2の科学技術館で開く＝ポスター。

銅に関する展示・実験など体験・参加型のイベントで、銅の優れた特長などを紹介する。

主催は、ほかに日本鉱業協会、(独)エネルギー・金属鉱物資源機構。後援は、(一社)日本伸銅協会、(一社)日本電線工業会、日本鉱業協会会員会社。

どう
銅の日 イベント開催

銅って知ってる?
銅にはすごい特徴があるんだよ。
きて、みて、さわって
体験してみよう!

令和6年
8月24日(土)
午前 9時30分
～
午後 4時50分

会場: 科学技術館 4F 団体休憩室 東京都千代田区北の丸公園2番1号
入場無料 ※ただし科学技術館入館料は必要
【主 催】
(一社)日本銅センター / 日本鉱業協会 / (独)エネルギー・金属鉱物資源機構
【後 援】
(一社)日本電線工業会(一社)日本伸銅協会 /
JX金属株 / 住友金属鉱山株 / DOWAホールディングス株 / 日鉄鉱業株 /
志賀機械金属株 / 三井金属鉱業株 / 三菱マテリアル株

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役会長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
電話 06-6471-2531~5
FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
電話 03-3618-2351~2

日刊金属LINE公式アカウントでは建値情報などを随時お知らせします。右のQRコードをスキャンしてください。



新型スラリーポンプ本格稼働

古河産機システムズ

古河産機システムズ株式会社(岩間和義社長)はこのほど、2023年から市場投入した、非鉄、半導体・電子部品、化学業界に向け新型スラリーポンプ「LK3」=写真=が非鉄製錬会社数社で採用され、一部生産ラインで本格稼働を始めたことを公表した。

スラリーポンプは、汚泥、鉱物、金属など固形物が混ざった液体の混合物スラリーの輸送に特化したポンプで、非鉄をはじめ幅広い業界の排水処理工程で使用されている。同社のポンプ事業は、グループの礎・足尾銅山で自家消費用として製造したことに始まり、1920年代(大正時代)には外販を開始。1954年に一般市販を始め、鉱山、製鉄、製紙、土木、上下水道、公害関連などの各分野で使用されてきた。耐摩耗・耐食性が評価され、工場をはじめ浄水場・下水処理場など公共インフラ、東京湾



新型スラリーポンプJK3

横断道路等泥水シールド工事現場など幅広く使われておる。

新型の「LK3」は、従来機の耐食性、耐摩耗性はそのままに、「ライフサイクルコスト削減」をテーマに開発した。



加: First Quantum社、Cobre Panamá銅鉱山の再開はないとの見通し

23日、First Quantum社は、同社の株主であるJiangxi Copper社と株主権協定を締結。First Quantum社の同意がないJiangxi Copper社による同社株買い増しや、5%以上の株式の売却ができないことになった。First Quantum社の収益のうち、40%がCobre Panamá銅鉱山事業で占められており、負債削減のため、株主である中Jiangxi Copper社(江西銅業有限公司)と銅の前払い協定を結ぶなど、資本再編策の実施を余儀なくされている。

KYOWA

関東・関西に2箇所ある生産拠点の強み
電線のことなら協和電線工業にお任せください



協和電線工業株式会社

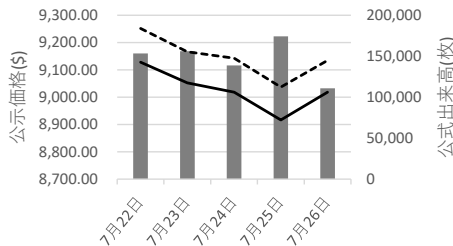
KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO., LTD.

本社・本社工場 〒581-0026 大阪府八尾市曙町1丁目7番地
TEL (072)991-0818(代) FAX (072)991-4470
千葉工場 〒289-0114 千葉県成田市成井925番地



LME公式値週間推移 7月22日~7月26日(現地)

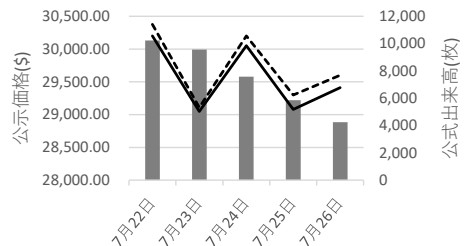
LME銅AG



	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日
出来高	153,434	156,049	138,602	174,161	110,688
直物	9,127.50	9,052.50	9,018.50	8,917.00	9,018.50
先物	9,251.00	9,166.00	9,142.50	9,037.00	9,134.00

■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LME錫HG



	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日
出来高	10,227	9,559	7,575	5,857	4,240
直物	30,200.00	29,050.00	30,050.00	29,080.00	29,410.00
先物	30,375.00	29,110.00	30,200.00	29,300.00	29,600.00

■ 出来高 — 直物 - - - 先物

※7月26日の出来高は速報値です。



JOGMECカレントトピックス (133)

自由貿易協定国として

～ニッケルLIB 注目の韓国 (下)～

2. 韓国のニッケル製品輸入動向について

硫酸ニッケルの調達という点では、フィンランドやベルギーからの輸入が多いようだが、米国のIRA法を考えると、韓国のバッテリー関連企業としては、同じく米FTA国である豪州は原料の調達先としてメリットがある。

上記の通り、LGES社とPOSCO社は、Queensland Pacific Metals社とTechプロジェクトについて、オフテイク契約込みで戦略的パートナーシップを締結したが、Queensland Pacific Metals社は米GM社とも長期オフテイク契約を締結している。LGES社とGM社は、米国に電池工場を合弁会社で建設する計画となっており、両社ともIRA法を見据えたバッテリー原料の確保に注力している。

また、POSCO社は、2023年8月にフィリピンのMC GroupとMoA (Memorandum of Agreement) を締結し、LIB正極材用のMHPの生産開発を行うことを公表した。ESG (環境・社会・ガバナンス) 基準も注視するとして、MHP生産時に排出される二酸化炭素量を50%以上削減する技術を採用するとしている。フィリピンはFTA国ではないが、フィリピン産MHPを韓国で正極材に加工すれば、IRA法の税額控除適用基準を満たすという理解で、同社は今後もフィリピンにおけるJVを促進させていくと発表している。

もともと、韓国企業が出資するニッケル鉱山としては、マダガスカルにAmbatovyがある。韓国鉱業鉱業公社 (KOMIR) が45.82%出資しており、EVバッテリーにも使用されるニッケルの塊ブリケットを生産している。2022年の同社のアニュアルレポートによると、35,737tのニッケルを生産している。韓国の2022年のニッケルの塊・粉輸入量は、ITCによると全体で約34,700t、そのうちマダガスカルは11%であった。

足元では、世界のニッケルは、インドネシアを中心に供給過剰となっており、Class1ニッケルそのものの取引よりもNPIをニッケルマットに転換し、硫酸ニッケルを生産するような、Class2ニッケルからClass1への転換が中国を中心に増えている。インドネシアの韓国企業のプロジェクは、POSCO社とEcoPro社が、それぞれMHPプロジェクトを予定しているほか、POSCO社はマットの生産を予定している。

世界の需給という観点では、Class2ニッケルのClass1ニッケルへの転換が今後の需給バランスの鍵となるが、インドネシアからの中間製品の輸出が、今後どのように変化するか、韓国の輸入相手先として、インドネシアがどの程度の割合を占めていくかという点についても着目したい。

3. LIB電池産業における中韓の関係と

韓国政府のサプライチェーン政策について

中国のLIB電池産業の一部は、海外生産プロジェクトへの投資を強化しており、特に韓国企業とのJVやパートナーシップはここ数年活発化している。韓国国内外で複数の共同のプロジェクトが確認されており、2023年7月に中国企業は、少なくとも4.4bUS\$相当のプロジェクト投資を発表した。韓国企業はプロジェクトを通じて、韓国企業向けに部材を提供する目的があると思われる。

これらのサプライチェーンと米国IRA法がどの程度関係しているのかは不明だが、IRA法の控除条件では、生産付加価値 (バリュー) のうちFTA国で製精された鉱物がどのくらいの割合を占めるかによって、控除対象になるかどうか分かれる。

IRA法の指針によると、中国、ロシア、イラン、北朝鮮の政府によって支配されている企業や組織は、懸念される事業者 (FEOC) と認定され、その組織を通じて生産された自動車は、控除の対象外とする方針が発表された。中国企業と韓国企業のJVでは、中国企業が25%以上を占めているものが確認されている。

韓国では、海外におけるリチウム電池用の資源調達サプライチェーンを強化する動きが強まっており、インドネシア、オーストラリアに多角化する方針である。韓国政府は、2022年11月に「二次電池産業革新戦略」を発表し、この中で二次電池サプライチェーンにおける中国依存度の高さをリスクとして挙げている。

2023年には「素材・部品・装備グローバル戦略」を掲げ、ニッケル、コバルト、希土類など、重要鉱物の安定的調達のために、インドネシア、フィリピンといった資源国との関係を強化し、2030年までに、「素材・部品・装備供給網安定品目」の国内生産比率を50%以上に高め、特定国への依存度を50%以下に引き下げることが目標とした。

米国市場を視野に入れた場合、出資比率の調整の必要がある一方、韓国のバッテリー産業協会によると、韓国のバッテリー関連企業は米国車メーカーと中長期的契約を締結し、米国内バッテリーセル生産量の50%を確保しており、品質と技術力もリードしているため、今回の規定の影響は大きくないと予想されている模様で、韓国企業の大きな動きはなく、依然様子見の状況である。

韓国のバッテリー企業は、IRAの控除条件の1つである「北米における電池部品の製造」をクリアすべく、北米への進出も推し進めている。正極材や電池工場の建設については、欧米OEM (Original Equipment Manufacturers) や、日本の本田技研工業との合弁会社が多い。

おわりに

韓国のバッテリーメーカーや部材メーカーが北米への進出を進め、米国IRAのインセンティブが意識される。一方、ニッケル・サプライチェーンにおける中国企業との連携も多い。日本と韓国は、世界のリチウムイオン電池サプライチェーンの中・下流に位置し、原料の大半は輸入している。同じアジア国であり、資源消費国として立場が似ている。その協力関係が両国の鉱物サプライチェーンにどのような影響を与えるか注視していく必要がある。



(株)日刊金属のサイト

<https://home.nikkankinzoku.co.jp>日刊金属既刊号公開サイト
<https://nikkankinzoku.co.jp>日刊金属 LINE 公式アカウント
<https://lin.ee/H3K9J5C>

故銅市況

前週末27日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が前営業日の8,917.00ドルより101.50ドル高の9,018.50ドル。直物の終値は、前営業日の9,003.52ドルより8.07ドル安の8,995.45。3か月物の前場売値は、前営業日の9,037.00ドルより97.00ドル高の9,134.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,122.00ドルより11.00ドル安の9,111.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場9月限は、前営業日の412.55セントより0.15セント安の412.40セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場9月限は、前営業日の7万3,720元より380元高の7万4,100元。

週明け29日の東京為替市場TTSレートは、前週末の155.13円より0.37円の円高ドル安、1ドル=154.76円。27日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,018.50ドル。この値と29日の東京外国為替市場US

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区（7月後半）

2S=248円 ~169円、63S=233円 ~284円、アルミホイール(1P)=250円~264円、ビス付サッシ=161円~170円、エンジンコロ=174円~176円、込合金(機械鋳物)=167円~175円、缶プレス(ソフト)=156円~168円。

関西地区（7月後半）

2S=277円 ~179円、63S=170円 ~304円、印刷版=165円~267円、アルミホイール(1P)=160円~301円、ベースメタル=150円~231円、機械鋳物=165円~169円、ドライ粉=187円~190円、ビス付サッシ=165円~190円、缶プレス=173円~178円。

ドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の142万1,000円より1万2,000円高の143万3,000円。この日、電気銅建値は143万円に据え置かれた。

為替動向

26日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで横ばい。16時、前日と同水準の1ユーロ=1.0850ドル~1.0860ドルで推移した。英ポンドは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0020ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.2850ドル~1.2860ドルで推移した。

26日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反発した。前日と比べ0.15円の円高ドル安、1ドル=153.75円~153.85円で取引を終えた。この日発表された米国の6月PCE物価指数が前月比0.1%の上昇と市場予想と一致。FRBが9月に利下げを開始するとの観測が改めて意識されるとともに、日銀の利上げが近いとの見方も根強く円買いドル売りが促された。ただ、円は前日、対ドルで151円台と5月上旬以来の高値を付けており円売りの持ち高解消の動きは一巡、米国株式相場の好況もあり、円の値は重かった。

29日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落した。8時30分、前週末17時と比べ0.26円の円安ドル高、1ドル=154.17円~154.19円で推移した。26日の米ダウ工業株平均が大幅高となった。日本の株式相場も上昇するとの見込みから円売りドル買いが先行した。円は対ユーロでも下落。8時30分、前週末17時と比べ0.36円の円安ユーロ高、1ユーロ=167.33円~167.36円で推移した。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(7月26日更新)

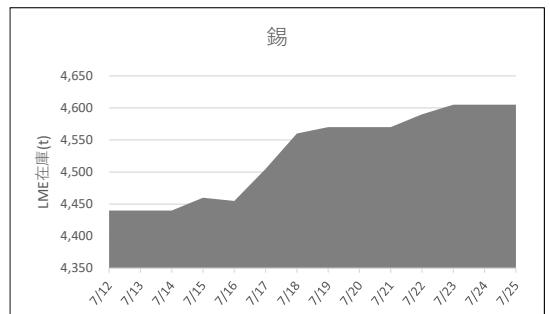
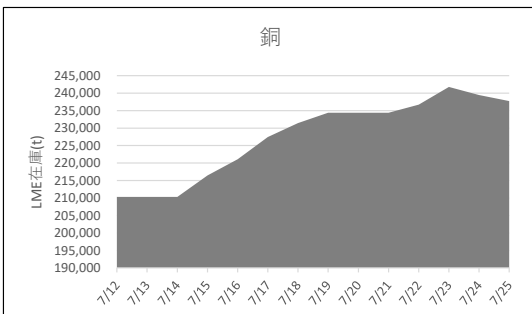
直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1198~1203、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1163~1168、並銅は1128~1138、込銅（高品位=約97%）は1118、セバは787~792。コーベルは要り用筋で728、それ以外は713ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋738、それ以外708~718どころの値頃。並青銅鋳物削粉は987~992どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1178~1198、上銅新くずが1143~1163、普通上銅が1118~1138、2号銅線が1110~1130、並銅が1108~1128、込銅(94-97%)が1056、込銅(90-93%)が1058、下銅が641~691、セバが752~787、コーベルが668~713、黄銅棒地が663~708、黄銅削粉が658~703、黄銅ラジが623~631、交又ラジが659~716、黄銅銅鋳物が623~630、送りが451~470、上青銅鋳物が984~1004、並青銅鋳物が964~979、上青銅鋳物削粉が979~999、並青銅鋳物削粉が954~974どころ。



LME認定倉庫在庫量推移 7月12日~7月25日(現地)





LME銅相場は反発 直物終値は8,995.45ドル
 COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場は反発
 LME非鉄相場は総じて堅調 直物終値は亜鉛2,616.94ドル、アルミ2,233.99ドル



27日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、26日電の8,917.00ドルより101.50ドル高の9,018.50ドル。9営業日ぶりの反発で1.14%高。この週2.12%の下落。7月に入って4.83%の下落。3か月物の前場売値も、26日電の9,037.00ドルより97.00ドル高の9,134.00ドル。9営業日ぶりの反発で1.07%高。この週2.25%の下落。7月に入って5.10%の下落。LME公認倉庫の現地25日銅在庫は、前日の23万9,425トンより1,675トン減の23万7,750トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、7月限が、26日電の411.25セントより0.80セント安の410.45セント。反落して0.19%安。この週2.71%の下落。7月に入って6.51%の下落。8月限も、26日電の410.95セントより0.40セント安の410.55セント。反落して0.10%安。この週2.68%の下落。7月に入って6.37%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）の銅相場は、8月限が、26日電の7万3,500元より530元高の7万4,030元。9営業日ぶりの反発で0.72%高。この週3.58%の下落。7月に入って5.21%の下落。9月限も、26日電の7万3,720元より380元高の7万4,100元。9営業日ぶりの反発で0.52%高。この週3.68%の下落。7月に入って5.32%の下落。

錫も反発

LME錫相場の前場売値は、直物が、26日電の2万9,080.00ドルより330.00ドル高の2万9,410.00ドル。反発して1.13%高。この週4.19%の下落。7月に入って10.88%の下落。3か月物の前場売値も、26日電の2万9,300.00ドルより300.00ドル高の2万9,600.00ドル。反発して1.02%高。この週4.05%の下落。7月に入って10.84%下落。LME公認倉庫の現地25日錫在庫は、前日より横ばいの4,605トン。

鉛も反発

LME鉛相場の前場売値は、直物が、26日電の2,001.00ドルより30.00ドル高の2,031.00ドル。反発して1.50%高。この週3.29%の下落。7月に入って5.97%の下落。3か月物の前場売値も、26日電の2,033.00ドルより17.00ドル高の2,050.00ドル。7営業日ぶりの反発で0.84%高。この週4.47%の下落。7月に入って7.24%の下落。LME公認倉庫の現地25日鉛在庫は、前日の25万875トンより3,850トン減の24万7,075トン。

亜鉛も反発

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、26日電の2,598.00ドルより11.00ドル高の2,609.00ドル。反発して0.42%高。この週3.97%の下落。7月に入って10.64%の下落。3か月物の前場売値も、26日電の2,654.00ドルより5.00ドル高の2,659.00ドル。反発して0.19%高。この週4.35%の下落。7月に入って10.65%の下落。LME公認倉庫の現地25日亜鉛在庫は、前日の24万3,975トンより1,625トン減の24万2,350トン。

アルミも反発 アルミ合金はまちまち 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、26日電の2,218.50ドルより10.50ドル高の2,229.00ドル。反発して0.47%高。この週3.59%の下落。7月に入って10.32%の下落。3か月物の前場売値も、26日電の2,276.00ドルより13.00ドル高の2,289.00ドル。11営業日ぶりの反発で0.57%高。この週3.34%の下落。7月に入って9.38%の下落。LME公認倉庫の現地25日アルミ在庫は、前日の94万7,225トンより3,550トン減の94万3,675トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、26日電の2,559.00ドルより3.00ドル安の2,556.00ドル。9営業日の続落で7.22%安。この週6.72%の下落。7月に入って13.10%の上伸。3か月物の前場売値は、26日電より横ばいの2,400.00ドル。この週6.25%の下落。7月に入って6.19%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、26日電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。7月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、26日電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。7月に入って横ばい。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、26日電の1万5,470.00ドルより80.00ドル高の1万5,550.00ドル。8営業日ぶりの反発で0.52%高。この週3.45%の下落。7月に入って8.31%の下落。3か月物の前場売値も、26日電の1万5,825.00ドルより15.00ドル高の1万5,840.00ドル。8営業日ぶりの反発で0.09%高。この週3.18%下落。7月に入って8.28%の下落。LME公認倉庫の現地25日ニッケル在庫は、前日の10万4,214トンより174トン増の10万4,388トン。

LME公示価格(US\$)／7月26日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,018.50	29,410.00	2,031.00	2,609.00	2,229.00	2,556.00	2,520.00	15,550.00
	前営業日比	101.50	330.00	30.00	11.00	10.50	▲ 3.00	0.00	80.00
	週間増減比	▲ 2.12%	▲ 4.19%	▲ 3.29%	▲ 3.97%	▲ 3.59%	▲ 6.72%	0.00%	▲ 3.45%
先物	公示価格	9,134.00	29,600.00	2,050.00	2,659.00	2,289.00	2,400.00	2,520.00	15,840.00
	前営業日比	97.00	300.00	17.00	5.00	13.00	0.00	0.00	15.00
	週間増減比	▲ 2.25%	▲ 4.05%	▲ 4.47%	▲ 4.35%	▲ 3.34%	▲ 6.25%	0.00%	▲ 3.18%

海外非鉄金属相場

(7月27日 入電・現地 7月26日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows include: 銅 AG, 錫 HG, 鉛, 亜鉛 SHG, アルミ HG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table for NY Comex market with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Includes 7月限, 8月限, 9月限, 10月限, 11月限, 前日比, 出来高.

Table for LME (円ベース/キロ) and COMEX with columns: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Includes 銅, アルミ, 錫, 鉛, ニッケル.

Table for Free Market (米国生産者価格) with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2785.0 (▲10.0), 2783.0 (▲9.1).

Table for NY Market with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35, 257.35, 353.35, 357.35.

Table for London Market (ドル) with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc. Values: 2386.10 (21.90), 22000, 6.50, 7.00, etc.

Table for KLT Market (MYR/KG, 出来高トン) with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, etc. Values: 3.7600, 3.7600, 4.6622, 4.6411.

Table for LME Inventory (トン) with columns: 在庫, 増減. Values: 237,750, 4,605, 247,025, 242,350, 943,675, 1,620, 220, 104,388, 528.

Table for Shanghai Inventory (トン) with columns: 在庫, 増減. Values: 301,203, 264,156, 113,978, 40,770, 20,068, 7,979, 1,666, 6,076, 260, 353.

Table for LME Pre-market (ドル) with columns: 先物気配. Values: 9,123.5, 29,500.0, 2,082.5, 2,084.0, 2,671.5, 2,673.0, 2,283.0, 2,284.5, 15,850.0, 15,860.0.

Table for Shanghai Market (トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込) with columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 74030, 19195, 22685, 19545, 125860, etc.

Table for Settlement Price (Fレート諸チャージ込み) with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Values: 9019, 29410, 2031, 2609, 2229, 15550, 410, 74030, 19195, 22685, 19545, etc.

※29日のKLTMは入電がありません。

非鉄金属製品相場

(7月29日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1750	1790	亜鉛板0.3×3×7	630	630	V V F	
建築用0.3ミリ	1800	1840	印刷用亜鉛板トッパン用	720	720	2C×1.6	69~71
銅大板2×1×2	1880	1990	給水管13ミリ	260	260	2C×2.0	121~124
銅管(ベース)	1810	1990	鉛板1.5ミリ	590	590	3C×1.6	127~130
水道用管(m当たり)13ミリ	1780	1960	鉛線3ミリ	420	420	3C×2.0	175~178
銅棒25ミリ	1660	1760	軽圧品		大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1715	1805	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	41~43.6
銅線0.9ミリ	1740	1820	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	113~120
銅帯6×50	1620	1760	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	283~301
銅平角線	1940	1990	〃 5052板	835	845	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1410	1435	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	2172~2308
〃 0.3ミリ	1440	1465	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	3366~3578
黄銅大板2×1×2	1560	1615	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	5640~5995
黄銅管	1890	2005	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	3357~3556
復水器用黄銅管	1860	1975	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4767~5050
黄銅棒快削25ミリ	1160	1220	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西-関東)	
六角棒	1190	1250	貴金属(一般小口向け)			3C×2	157~161
四角棒	1220	1280	白金(グラム)		◎ 5259	4C×2	211~216
鍛造用	1200	1260	パラジウム(グラム)		◎ 5285	6C×2	303~310
ネーバル	1300	1360	金(グラム)		◎ 13136	7C×2	348~356
高力	1300	1360	銀(キログラム)		◎ 157740	合金鉄 5月輸入単価(CIF)	
黄銅線6ミリ	1595	1615	レアメタル輸入価格		5月通関(CIF)	フェロマンガン2%以上炭素含有	166
黄銅平角線ロール仕上	1795	1825	金属ケイ素(99.99%未満)		355	〃 その他	214.9
黄銅条1.5×100	1405	1450	モリブデン酸化物		5073	フェロシリコン55%以上	250
リン青銅板一般用1.0ミリ	3270	3260	タンタル		58412	フェロクロム4%以上炭素含有	246
〃 パネ用0.3ミリ	3520	3520	マグネシウム		413	フェロモリブデン純分60%以上	4995
リン青銅棒25ミリ	3340	3350	コバルト		4954	フェロバナジウム	3185
リン青銅線3ミリ	3780	3790	インジウム		33934	フェロニッケル33%未満	501.5
洋白板一般用1.0ミリ	3680	3830	銅合金地金		7月1日発表	電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 パネ用1.0ミリ	3830	4000	(標準価格)	大阪			

減摩合金	7月16日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	6605
2種	6440
3種	6265
4種	5560
5種	5125
7種	2000
8種	1790
9種	1495

銅合金地金	7月1日発表
(標準価格)	大阪
BC 1種	1570
2種	1975
3種	2075
6種	1735
7種	1845
YBSC 3種	1370
LBC 3種	1980
PBC 2種	2110



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(7月29日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		66,000 ~ 73,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1296	1300	電 気 銅	◆1398	◆1393	◆1400	◆1395	山元建値 電気銅	1430(26) 金 11,870(29)
2 号 銅 線	1254	—	電 気 亜 鉛	430	424	430	424	() 実施日 電気鉛	390(23) 銀 141,160(29)
上 銅 (新 切)	1267	1263	蒸 留 亜 鉛	418	412	418	412	電気亜鉛	454(26) 錫(99.99%) 5,400(29)
雑 ナ ゲ ッ ト	1097	1096	再 生ダイカスト亜鉛2種	358	352	358	352		
並 銅	1209	1193	再 生 亜 鉛 (98%)	313	307	313	307		
下 銅	1190	1164	電 気 鉛	369	366	369	366		
銅 削 粉	1170	1164	再 生 鉛 1 号	351	341	345	340		
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	356	352	350	346		
新 切 黄 銅 セ バ	932	943	錫 1 号	◆3800	◆3750	◆3800	◆3750		
コ ー ベ ル	896	899	ア ン チ モ ン	2400	2350	2400	2350		
黄 銅 棒 地	874	887	ニッケル(メッキ用)	2550	2500	2550	2500		
黄 銅 削 粉	868	882	コ バ ル ト	5000	4700	5000	4700		
並 黄 銅	870	854	セ レ ニ ウ ム	4100	3900	4100	3900		
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	735	719	ピ ス マ ス	1600	1500	1600	1500		
交 叉 ラ ジ エ タ ー	818	805	カ ド ミ ウ ム	800	750	800	750		
黄 銅 鋳 物	875	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450		
山 送 り (55%)	500	—	アルミ地金 99.70 %	◎393	◎389	◎395	◎391		
上 青 銅 鋳 物	1021	—	アルミ二次地金 99 %	370	365	370	365		
並 青 銅 鋳 物	1019	1014	〃 90 %	345	340	345	340		
上 青 銅 鋳 物 削 粉	1014	—	アルミ二次合金ADC12	359	354	362	357		
並 青 銅 鋳 物 削 粉	1004	998	鋳 物 用 C2BS	484	479	486	481		
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1299	青 銅 合 金 地 金 3 種	1820	1810	1825	1815		
〃 (鋳 物)	1135	—	〃 6種	1570	1560	1555	1545		
リ ン 青 銅 削 粉	1050	1049	ハ ン ダ 錫 60 %	4135	4095	4155	4125		
新 切 洋 白 (電 子 材)	1068	1062	〃 50 %	3570	3520	3590	3560		
新 切 亜 鉛	256	256	〃 40 %	3065	3005	3020	2990		
ダ イ カ ス ト く ず	173	173	減 摩 合 金 2 種	5930	5900	5935	5905		
亜 鉛 ド ロ ス	153	163	〃 4 種	5090	5065	5095	5065		
上 鉛	218	216	〃 7 種	1730	1680	1730	1680		
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	88	88	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		90	90		
活 字 鉛	203	200		〃 ダライ粉		75	75		
新 切 アル ミ 1 級	300	308		高耐食ステンレスSUS316		270	270		
新 切 サ ッ シ 1 級	305	306		耐熱ステンレスSUS310		375	375		
新 切 合 金 1 級	293	291		13クローム 新切	◎36	◎37			
機 械 鋳 物 1 級	239	252		ハイス 9種		180	180		
ピ ス 付 サ ッ シ P	248	252							
合 金 削 粉 P	193	194							
込 ガ ラ P	161	165							
カ ン ・ バ ラ	220	216							

